

椎野勇太准教授が日本古生物学会の論文賞を受賞しました。

椎野勇太准教授（理学部）が、令和 3 年 7 月 1 日に日本古生物学会論文賞を受賞しました。

受賞論文：A morphological analysis of the flat-shaped spumellarian radiolarian *Dictyocoryne*: morpho-functional insights into planktonic mode of life. *Paleontological Research* 誌, 24 巻, 2 号, pp. 134-146, 2020 年.

受賞者：椎野勇太, 栗原敏之, 一戸 凌, 岸本直子, 吉野 隆, 松岡 篤

本論文賞は、『*Paleontological Research* 誌』の 23 巻 1 号（2019 年）から 24 巻 4 号（2020 年）に掲載された論文を対象に、最も独創性の高い優秀な研究論文として授与されたものです。当該論文では、ガラスの殻を作る動物プランクトン放射虫の 3D 形態解析に挑戦し、形の特徴とその成長戦略から浮遊原理や生存戦略を明らかにしたものです。先端技術の X 線マイクロ CT を使い、機能性の評価とその進化学的な側面を統合的に考察した新規性が評価されました。